

## 経営体の概要

- 所在地：秋田県横手市
- 経営体名：農事組合法人きずな
- 組合員34名
- 栽培作物及び面積115ha (R5)  
米60ha、大豆25ha、小麦21ha、  
そば40ha、ネギ1.6ha、枝豆4.6ha、  
スイカ0.7ha、アスパラ0.6ha、ピーマン0.2ha、  
おうとう0.3ha、りんご0.3ha、ブドウ0.2ha



横手市  
十文字地区

## 導入技術

- パワーアシストスーツ 300千円/台  
商品名：エアロバック((株)サステクノ)
- ※2台保有  
補助力：18kgf (エア圧入式)  
重量：1.8kg



【収穫作業】



【ほ場運搬作業】



【出荷運搬作業】

## 導入経緯

- 生産ほ場の面積拡大や高齢化により、重量品目や作業負担の大きい品目に対する従業員の生産意欲低下が懸念されていた。
- そこで、軽労化や労働環境の改善を図るため、国の「次世代につなぐ営農体系確立支援事業」を活用して、パワーアシストスーツを導入した。

## 現場での活用状況

パワーアシストスーツを活用して、スイカの収穫・運搬やアスパラガスの長時間作業の負担を軽減している。

<現場からの声>

- 作業姿勢が安定し、果実を丁寧に扱うことができるため、キズ・割れ等の発生が減少した
- 収穫時の「落とす」事故が減少した
- 収穫・運搬作業が効率よくでき、作業時間の削減につながった。
- 長時間作業による腰痛が軽減された

<今後の期待>

地域の雇用型大規模経営体の多くがパワーアシストスーツ等軽労化機器を導入することで、雇用労力を効率的に活用できるため、生産力の低下を防ぎ、生産規模の拡大につなげるのが可能になる。